

【原則 3-1 情報開示の充実】

(iv) 経営陣幹部の選解任と取締役候補の指名を行うに当たっての方針と手続

当社は、4名の独立社外取締役および1名の代表執行役を兼務する取締役で構成される指名委員会において、取締役候補者を決定し、その内容を定時株主総会に議案として提出します。当該選任にあたり、特に独立社外取締役については、エグゼクティブ・サーチ会社等の協力を得、幅広いプールの中から候補を探します。その選任の基準は以下のとおりです。

1. 人格に優れ、高い倫理観を有していること
2. 遵法精神に富んでいること
3. 職務遂行上健康面で支障のないこと
4. 経営に関し洞察力に優れ、客観的判断能力を有すること
5. リーダーシップを発揮した経験に富み、チーム志向を備えていること
6. 当社グループの事業分野において経営判断に影響を及ぼすおそれのある利害関係、取引関係がないこと
(「社外取締役の独立性」については別に定める。)
7. グローバルまたは多国籍事業環境での経験が豊富でかつ/または市場、技術、会計、法務、後継者育成等当社グループが必要とする専門性を備えていること
8. 取締役会や自身がメンバーとなる委員会等への参加のための十分な時間が確保でき、指名、監査および報酬の三委員会のいずれかの委員となる場合は、その職務を遂行する資質を有していること

また、「経営陣幹部」とは、(i) 執行役社長、代表執行役および執行役ならびに (ii) CEO、COO、CFOおよびこれらに準ずるか、もしくはこれらに次いで重要なグループの職位として取締役会がその選解任を決定するものを指します。¹

指名委員会は、取締役会のこのような決議に先立ち、当該選解任につき、取締役会に対して、推薦または助言をします。

こうした選任/任命/解任にあたっては、これまで証明された業績、リーダーとしての潜在性、ならびに当社グループの将来の方向性、「Our Vision」やステークホルダーコミュニケーションについての原則、行動準則およびグループコンピタンスとの適合性等を総合的に考慮します。

執行役の任期は原則として1年で、上記の基準を踏まえ、毎年その選任を見直します。その他の幹部についても毎年個々人の業績管理を実施します。

当社グループは、このように経営陣幹部の選解任方針および手続について透明性の高い

¹ CEOの直属の部下となる役職は、通常含まれるものとします。

プロセスを維持することに努める一方、グローバル企業としてこれら幹部のリテンションリスクは不可避であると認識しており、毎年の後継者育成計画の見直しや人材育成を計画的に実施し、やりがいのあるキャリア開発の機会を提供することで、人材に関する経営リスクを最小限にとどめることにも努めています。

(v) 上記(iv)を踏まえた経営陣幹部の選任と、2021年6月開催の定時株主総会における取締役候補の指名を行う際の個々の選任・指名についての説明

独立社外取締役（取締役会議長） 木本 泰行

2016年6月より当社の社外取締役を務められています。国際的な大手メーカーの取締役会長として、独立社外取締役が過半数を占める取締役会をリードした経験を有されることに加え、大手金融機関の英国現地法人の社長、取締役会議長として、複数の外国人独立社外取締役を擁する取締役会をリードされた経験も有しておられます。このようなグローバル企業での豊富なマネジメント経験と財務・会計・金融やリスクマネジメントに関する幅広い見識に基づき、当社の経営への助言や独立した客観的な立場から執行役等の職務を監督していただくことにより、当社の企業価値向上に資することが期待され、引き続き、独立社外取締役として選任をお願いしました。

取締役 代表執行役社長兼 CEO 森 重樹

当社グループで人事、経営企画に携わった後、建築ガラス事業部門の子会社社長および高機能ガラス事業部門長等の要職を歴任しました。また、2010年7月より2年間、建築ガラス事業部門 英国・南欧 製造・加工・販売部門長として英国に駐在した経験を有します。このような管理部門および複数の事業部門にわたる豊富な業務執行の経験と実績に基づき、2015年4月から、代表執行役社長兼 CEO（最高経営責任者）として、当社グループの経営を担っています（2015年6月に取締役に就任）。当社グループの事業および経営に関する豊富な経験と実績を活かして、引き続き、当社の取締役会の意思決定機能に資することが期待されるため、取締役として選任をお願いしました。

独立社外取締役 ヨーク・ラウパッハ・スミヤ

2019年6月より当社の社外取締役を務められています。ビジネスと学術の分野において国際的な経験を有され、現在では日本国内の有力大学の経営学部の教授を務め、主に再生可能エネルギーと地域経済について旺盛な研究活動を実施されています。このような学識経験者及びグローバル企業での豊富なマネジメント経験とESGやポートフォリオマネジメントに関する幅広い見識に基づき、当社の経営への助言や独立した客観的な立場から執行役等の職務を監督していただくことにより、当社の企業価値向上に資することが期待され、引き続き、独立社外取締役として選任をお願いしました。

独立社外取締役 石野 博

2020年7月より当社の社外取締役を務められています。大手商社において海外業務を担当され、その後、国際的な大手メーカーにおいて代表取締役社長として同社グループのグローバル戦略や複数の異なる分野での事業展開を推進してこられました。このようなグローバル企業での豊富なマネジメント経験と事業構造改革や製造から販売に至る事業オペレーションに関する幅広い見識に基づき、当社の経営への助言や独立した客観的な立場から執行役等の職務を監督していただくことにより、当社の企業価値向上に資することが期待され、引き続き、独立社外取締役として選任をお願いしました。

独立社外取締役 皆川 邦仁

2020年7月より当社の社外取締役を務められています。国際的な大手メーカーにおいて経理担当の常務執行役員や監査役を歴任され、現在では金融庁 公認会計士・監査審査会の委員を務められるなど、財務及び監査に関する幅広い見識および実務経験を有しておられます。このようなグローバル企業での豊富なマネジメント経験と財務・会計に関する専門的知見に基づき、当社の経営への助言や独立した客観的な立場から執行役等の職務を監督していただくことにより、当社の企業価値向上に資することが期待され、引き続き、独立社外取締役として選任をお願いしました。

社外取締役 黒井 義博

2020年7月より当社の社外取締役を務められています。大手商社において海外子会社社長を務め、その後、大手自動車メーカー、大手自動車部品メーカーにおいて役員として海外事業、IR、リスク管理などの豊富な実務経験を有しておられます。このようなグローバル企業での豊富なマネジメント経験とリスクマネジメントや事業開発に関する幅広い見識に基づき、当社の経営への助言や執行役等の職務を監督していただくことにより、当社の企業価値向上に資することが期待され、引き続き、社外取締役として選任をお願いしました。

執行役

森重樹は、これまで証明された業績、リーダーとしての潜在性、ならびに当社グループの将来の方向性、経営理念や行動指針、およびグループコンピタンスとの適合性等を総合的に考慮の上、指名委員会による推薦または助言に基づき、取締役会の決議により代表執行役に選任、任命されました。また、同様に上記の各要素を総合的に考慮し、かつ、当社グループの各事業部門の長および一定のファンクション部門の長を、より法的な位置づけや責任が明確である執行役とすることで、執行体制を強化するため、執行役常務として、トニー・フラッジリー、日吉孝一、細沼宗浩、楠瀬玲子、西川宏、ロブ・パーセル、およびフィル・ウィルキンソンが、執行役として、マイク・グリーンナル、小林史朗、中島豊、イアン・スミス、およびミレナ・スタニッチが、それぞれ指名委員会による推薦または助

言に基づき、取締役会の決議により、選任されております。